	□ 出張報告書				番号	DB12-035		
	会議議事録				作成日	2012/2/15		
件名	2012年1月度部内会議議事録			部課名		認可	審査	作成
				創事業	研究部	高橋		今西
日時	2012/2/6(月) 15:00-17:00	場所	創事業研究部会議室					
出								

# 議題、議事の趣旨、結論(決定事項・要処置事項)等

担当、期限

### 1. 共通

- 契約書に八木取締役の役印が必要な場合は、法務に申請すること。 役印は法務で管理している。
- ・研究開発予算を入力して下さい。 〆切 2/6。
- ・下期損益改善のため 4Q の外部講習会参加は絞り込むこと。

# 2. 戦略企画グループ

M、久野 M、今西(記)

・ Glimmerglass 社 IOS の対防衛省向けプレゼンを来週実施。半田顧問/飯田顧問にご紹介の労をおとり頂いた。訪問した際に防衛省でのサイバーセキュリィティに関する考え方や要望を聴取予定。価格に関する質問が出た場合は、IOS は 2000 万円/チャンネル、ソフト¥1000 万円で、計¥3000 万円~。ちなみに欧米では通常  $4\sim5$  チャンネル/拠点とのこと。

#### 3. SOFC 開発グループ

- 08 モデルスタック組込 SOM での"失火状態"の現象に対して、販売時には危険状態になると停止する仕組が必要。
- ・ ビジネス化検討で、海外を狙う場合には、特許をよく考えておくべき。ターゲットは東南 アジア。
- ・ NTT との共同開発を中断した場合、NTT 他部門への影響を考えておくこと。 また形だけでも共同開発という形を取ったほうが得策かどうかを検討しておくこと。

#### 4. 基盤技術連携グループ(一次伝面熱交換器)

・ 1 次伝面熱交と、プレートフィン熱交の性能シュミレーションについて、プレートフィン型の方が、性能が高いとの結果は、1 次伝面のフィン形状がストレートもしくはウェーブタイプであることに対し、プレートフィン型では、高性能のセレートフィンを使える為である。

#### 5. 複合材料実用化グループ

(1)HTCC

・特になし。

# 配布先 各出席者 1 越智M 1 庄谷主幹 1 佐藤 M 1 今西 M 1

## (2)潜水艦複合材プロペラ

- ・ブレード1本目の底面角度測定のため、完成後のブレードをアイコクアルファへ送付するとのことだが、運搬中やハンドリング時の破損リスクを考えた場合、社内測定を考えるべきである。
- ・ 注文書フォローのため、八木取締役に MHI へ訪問していただいたが、効果は無かった。=> ただし、将来ビジネスとしての感触を得ることができた。(Post Meeting Note)

#### (3)脚材料関連-Side Stay 実体試作

SJAC の最終まとめにむけ、藤原 S のフォローをしっかりと行うこと。

- (4)NEDO プロジェクト
  - ・SPS 2 号機は3月初めに納入予定。検収は3月末予定。
- (5)高強度ステンレス鋼
  - 特になし。
- 6. 材料・プロセスリサーチラボ
  - ・ 液相析出法に関する SOFC への適用検討は、部内での研究であるので、設計・仕様等 に対して、深く入り込んで研究を進めること。
  - ・メタリコン膜厚測定器に関して、起業補修予算の合否判定を確認すること。
  - PS400 クラスターギア不具合について、残りは 18 セット。 方針としては、設計不具合に持ち込み、100%SPP 責を少しでも減らしたいとのことである。
- 7. 知財・技術管理グループ
  - ・パテントクリアランス対応はまだ少ない。
  - \*次回3月度部内会議の担当は上森次長

以上

計 12 関連文書類 2012年2月度部内会議資料